学校番号	3010

令和5年度 工業（インテリアデザイン） 科

教科	工業	科目	インテリア表現	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

インテリア表現の授業では、インテリアにおける基礎的な空間力やプレゼンテーション能力を養います。ディスプレイや工業製品などに適用されるデザインの視点から捉え、色彩や素材、空間構成を通して、デザインにおける適切な材料・技術を選択した上で今後の作品制作に利活用することができるよう学習します。
履修条件
なし

2　学習の到達目標

・インテリアにおける基礎的な空間力やプレゼンテーション能力を身に付ける。 ・インテリアのディスプレイや工業製品などに適用されるデザインの視点から捉え、色彩や空間構成を通して、デザインにおける適切な材料・技術を選択する。 ・・基礎力と応用力を身に付け主体的に取り組み今後の作品制作に活かせるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	インテリア表現（色彩・素材・空間構成）を理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	インテリア表現（色彩・素材・空間構成）に関する課題を発見し、デザインに携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	インテリア表現（色彩・素材・空間構成）に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、デザインの発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	インテリア表現の導入	・インテリア表現の概要 ・グループディスカッション ・商品、空間調査 ・室内、屋外のディスプレイデザイン	a：インテリア表現（色彩・空間構成）を理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 b：インテリア表現（色彩・空間構成）に関する課題を発見し、デザインに携わる者として科学的な根拠に基づき結果を検証し改善しようとしている。 c：インテリア表現（色彩・空間構成）に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、デザインの発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等
2	インテリア表現の導入表現の応用	・空間作品制作 　着彩、空間構成 ・商品、空間調査 ・室内、屋外のディスプレイデザイン ・レイアウト	a：インテリア表現（色彩・空間構成）を理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 b：インテリア表現（色彩・空間構成）に関する課題を発見し、デザインに携わる者として科学的な根拠に基づき結果を検証し改善しようとしている。 c：インテリア表現（色彩・空間構成）に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、デザインの発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等
3	インテリア表現の深化	・空間作品制作 　着彩、空間構成 ・室内、屋外のディスプレイデザイン ・作品の発表	a：インテリア表現（色彩・空間構成）を理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 b：インテリア表現（色彩・空間構成）に関する課題を発見し、デザインに携わる者として科学的な根拠に基づき結果を検証し改善しようとしている。 c：インテリア表現（色彩・空間構成）に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、デザインの発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度